

8141

五 一 受信一〇九五〇 譯了二二一〇 電〇〇二三〇 作 概

作戰緊急

● 横濱空基地

● 一機動基地航空部隊 詫間航空隊



機密 第〇一〇八〇〇番電

宛 詫間航空隊飛行隊長

○ 電令作第一〇號ニ依ルP艇身輸送ノ爲ニ式飛行艇一機(分隊長

佐佐木大尉)二十九日一六〇〇横濱發三十日〇五〇〇P艇着任務終了

● 空襲ニ遭遇空戦自爆セリ

詳細一UNB機密第三〇一六一〇番電通リ

通二一六 呂一Bケ十一(B) 横通

大内(久保田)

昭和二十一年六月五日

昭和廿五年五月式圖

五一 受信一九三五

譯了二〇三〇 電〇〇四五九

本概〇

三〇根

2



先遣部隊・五航空艦隊
三〇根部 概報着信艦所

ヤツブ航空基地・四六終

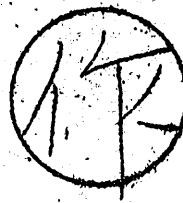
機密第〇一〇九一〇番電

PP 附近行動敵艦船速報 (五月一日)

○六三〇ヨリ〇七一〇迄油槽船一隻 (八千噸級滿載甲板止ニ飛行機ラシキモノ搭載) ロスソル水道出港輸送船二隻 (八千噸級滿載) 油槽船二隻 (七千噸級普通一甲板上飛行機二搭載八千噸級滿載一) 小艦艇二隻ロスソル水道入港

通三八九 呂一ドラ十四 (一五七一〇) (三通 森津) (土 谷)

1714



五一

受信二七四五〇

了二三二〇

電自〇〇五三五

作概

千島根

千島防備部隊戰艦報告信艦所

機密第〇一〇九三〇番電

三分ノ二、三

千防戰艦概報第一一六號(四月三十日)

一、第一次〇六〇一カゲノ間ノ東一三〇軒ニテ電探敵飛行機捕捉〇六二

二日三四 二機國端崎ニ侵入阿頼度島附近行動後再國端崎ニ侵入超

低空ニテ銃撃及鐵筋彈四發投下後東方ニ避退第二次〇六二一カゲノ

間ノ東二二〇軒ニテ敵機探知〇六五五カゲノマ方向ヨリ占守島上空

ヲ通過阿頼度島附近行動後幌筵海峽北口ヨリ片岡地區ニ侵入片岡棧

橋附近ニ對シ雲上ヨリ一五〇庭程廣ノ爆彈約四〇發投下ノ後東方ニ

避退ス雲ノ爲機種機數不明ナルモバク音及通信謀報ヨリ八一二四

通三六九・四三二・四五二 天三〇ケ三

大湊 高橋(福田)

(一)

昭和廿年五月貳日

三機高度四〇〇一五〇〇ト推定

二被害冷蔵庫一部中破兵舎數棟小破貨物自動車四大破其ノ他送油管水道電線等輕微ナル被害アリ

三天候曇東ノ風五米雲高四〇〇米視界一〇軒

四最近日二四ガ雲上ヨリ重要施設ニ對シ相當正確ナル爆撃ヲ開始シタルハ特異ニシテフレードーヲ裝備シタルモノト認ム。

五、一 受信一三二五三
開始一三二五三
二 了〇八一七 電〇〇七一六
作戦緊急
本機

昭和廿年五月参閱



- 東道・横通・聯合艦隊口・三航艦隊口
- 小金原部隊

機密第〇一〇九四二番電

發 南島島守備部隊指揮官

着信者 横領長官 軍令部次長 參謀次長

受報者 第十六潜水隊司令

一 全滑走路修理完成

二 昨三〇日迄ニ於ケル戦死者左ノ通

三 死傷軍下士官ニ施設部工員十八重傷施設部工員三。

（東道註 本電同合セノ爲遲延）

通二六〇 呂一B々十一（一〇二〇〇）南響 池阪（高 福）

1/10/52

五一 受信一七二一六 譯了二二〇〇 電〇〇〇五〇〇七
譯始二〇三〇

諜訊

昭和廿五年五月貳日

東京 通・一〇通
海 南 密

密 第〇二一〇〇六番電 二分ノ二

二十九日サイゴン來襲機ヲ捕虜（米中尉）調査報告（憲兵調査）

一、五月上旬印度支那上陸作戰ヲ企圖シ準備中ナリシ米比軍ハ四月二十

七日ニ至リテ「ボルネオ」北東岸上陸作戰ヲ變更セラル（兵力其ノ他

不詳）

ニサイゴン空襲機ハ「パラワン」島ヲ基地トシ機ネ〇六三〇基地發一〇

四五サイゴン着日二五ハサイゴン滞空時間一時間

ニパラワン島空軍兵力日二四 二五 日二五 五〇 P I 三八 一〇

〇 P I 五一 六五 A I 二〇 二〇〇 I 四七 二五 P B 四三二〇

通四五一
通四五三

呂一Bケセ（一七五九〇）一〇通 山下（島田）

五一 受信一四四二八 譯了二四四三 電〇〇三二四 航作機本〇



◎ 大 海 參 一 部 ・ 聯 合 艦 隊 口
◎ 天 一 號 作 戰 部 隊

符

6

發 六 航 軍 機 密 第 〇 一 一 二 〇 一 番 電

第五航空軍報（四月下旬）

支那ヨリマリアナ諸島へ移動ヒリト判断スルB1二九 六〇

通三一八 才十六 （九八三〇七）佐二放 星野（阿波）

昭和十七年四月廿四日

五 一 受信 一三三 一六〇 譯了 一三三一 電〇〇二八一 作概〇

緊 急



共 符

母島警備隊

機密第〇一一二一五番電

當隊機密〇一一〇〇番電關聯

先先敵驅逐艦ハ二四〇度方向海上ヲ南下セリ硫黄島ノ哨戒驅逐艦ト
思ハレル 一二一〇。

通二八四 才一五 (一〇・二〇〇 KC) 母島警備隊 星野 (岩崎)

五二 受信開始 〇三二六 終了 〇六五一 電電 〇〇七二二三

作概

昭和廿年五月參日



二十三根戰國概報着信處所

機密第〇一一三一四番電

二分ノ二

第二十三特別根據地除戰國概報 第十二號「四月三十日」

一、〇〇二 四發爆撃機二機「マカツサル」半島沿岸爆撃ニ南方ヨリ

侵入「マカツサル」西方海上投彈

二、一〇二七B-1二機 二機東方ヨリ「ライカン」地區ニ侵入傳單撒布

及飛行場前方投彈（五發）後一〇五三東方ニ去ル

三、一〇一八B-1二機 一九機北東ヨリ侵入「ロビンソン」飛行場投彈多

數一一三北東ニ去ル被害調査中

通四六四 通七四五

呂一Bラ十八

（六一八三六キ、六一二二二）

五五〇（二二通）

(1)

藤井、クス本（庭田）

四一五九P一三八 一機「マカツサル」半島ニ侵入偵察ス一

一八北方ニ去ル

五一四二五B一三四 二機「マカツサル」港外旋回偵察後一五一五北西

ニ去ル

六二二一四 四發爆撃機南東ヨリ侵入「ライカン」「マロス」飛行場

旋回後「ライカン」飛行場ニ投弾八發〇〇〇迄執拗ニ偵察後南東

ニ去ル。

(5)

1

五 一 受信二三〇五 譯了〇二三〇 電〇〇六〇九 復 機

昭和廿年五月貳日

作

男 鹿

海護總局・第一護衛部隊

機密第〇一四三六番電

男鹿ヲ通探ヲ用シ敵浮上潜水艦ヲ探知捕捉一〇〇〇米近接砲撃ス
戦果艦破下没セシメタルハ大ニ可ナリ
但シ爾後ノ爆雷攻撃位ニ戦果確認ニ對シ更徹底スルノ要アリ

通六二三 天二日ケ八(四九一五四)佐二放 村尾(河上)

人

五
一
開始二〇三〇七
丁二三五五
〇一〇九五
本概〇

昭和廿年五月廿日



- 三〇横取岡橋線着信股所・第五航空隊駐P・先遣部隊P
- 四六警・ヤツブ航空基地

三〇根 A

機密第〇一七四五番

PP 附近敵艦船情況速報 (五月一日 其ノ二)

一、〇八三五ヨリ一三三〇迄輸送船二 (何レモ八千噸級滿載一普通一) 輸送船三 (何レモ千五百噸級滿載) 舟艇一ヲ搭載、油槽船一 (千五百噸級滿載) 小艦艇二コスル水道入港

三、輸送船小艦艇一コスル水道入港一六〇〇コスル水道内碇泊敵艦艇
 大型輸送船四隻 中型輸送船一 小型輸送船五 大型油槽船 中型油槽船 二小
 型油槽船一 小艦艇一〇 上陸用舟艇一。
 通一〇二九 日一Bラ十四 (一五七一〇C) 三通 小官 (森 田)

作戰緊急

五 一 受信 二二二〇一 譯了 二二二五〇 電 〇〇五七四 航作 概 〇

昭和廿五年五月八日



- 聯合艦隊司令部・第三航空艦隊司令部
- 大海參一部・第五航空艦隊司令部

● 無線艦所用共通符號

機密 第 〇 一 一 八 〇 五 番 電

發 第四艦隊參謀長

一七二〇B1二四 一〇來襲 楓島ニ投彈滑走路ニ小型時限爆彈百發
 外命中取敢マ銀河隊ノ明二日ノ出發延期サレ度楓島基地修理完了時期
 調査ノ上復報

通五六一 呂一Bケ二一(一二五C)四通 奥山(木 下)

五 一 受信 二〇五九
譯始 二一三二
譯了 二二二五 電 〇〇四八七
航作 概 本〇

緊急



西部方面部隊

機密 第〇一一八〇七番電

發 一二特根司令官

「ボートブレイヤー」飛行場使用可能

一八〇〇・

通五六四 於十六 (九二〇五九) 十道放 東野(阿波)

入

五二 受信一六二五
船二一〇五

了二三三〇
〇一〇九二

参作
本稿

昭和廿年五月廿日

作

三〇根取開港船着港所・先通船P・五航空船P
四六 管・ヤ・ウ・ブ 航 空 船

根取船〇一八四六番電

三〇根取開港船 (五月一日)

PP 附近敵航空機ハ當隊機密第〇一〇九一〇番電及第〇一七四五番

電通

三〇〇四五敵艦艇碇泊状況

(M) コスソル水道大型輸送船四中型輸送船二小型輸送船五大油糧船二中

油糧船二小油糧船一小醫療七輸送船四

(P) PPP 周邊〇九三〇輸送船一〇五小油糧船四

三昨夜敵一〇五四五ヨリ一六五五マデニP四U一延二五輸送機四

BI二四一九 P D Y I I 一機計五〇 P P P 二架機機機機

通一〇五四 昌一Bヨク (一五七) 〇七 (三通 藤井) (主 谷)

四 P P P 發着

(A) 昨四月三十日一一〇〇以後輸送機九發六着(四月三十日計輸送機七)

發一三着B I 二四 二發一着大型機一發四着

(B) 本日一一〇〇迄輸送機一一發一二着B I 二四 十發十着B I 二四

三發六着

5-6261

- (一) 監視艇 木造丸給水船 (一〇噸) 大菱四銃臺ニ依リ沈没
- (二) 三銃機銃二同彈藥包二六七〇小銃彈藥包三〇〇燒損
- (三) 兵舎倉庫工場等若干被彈倒壊。

五二 受傳〇〇六一五六 譯了〇七二二五 電〇〇〇八二二三 艦作概〇・戦力



● 聯合艦隊司令部・吳通・佐通・舞通

● 支那方面艦隊司令部

昭和廿年五月

機密第〇一一九一八番電 三分ノ三

裝備ノ二十五耗機銃及同彈藥團二 三ノ當方面防備強化ニ充當セシムル
ニハ内地歸還後裝備尙舟艇襲撃仍用由式。須式ハ筒崎丸ニテ海没何レモ
佐需ヨリ送付ノ豫定ナル處急遽ナル魚雷整備ノ要アルヲ以テ椿裝備ノ由
式ホソノヲ上海ニ陸揚送付豫定ノ分ヲ椿ニ裝備換ノコトニ是非取扱ヲ得
ニ官房艦機密第六〇二號ニ依ル對戰車攻撃兵器ハ進出ノ途次全部海没セ
ルニ付最小限廈門根上海根上海時陸充當豫定椿ハ傳テ得度。

（電信課註 本電三分ノ一既配布）
六八八 六八九 呂一Bケ十一 四〇四四五 Koko 上海
馬場（高橋）（川口）

五一 受信二三四〇 譯了二三四〇 電〇〇五三九 作 概
譯始二三一〇〇

昭和廿年五月參日



父根戰團概報着信艦所

母島警備隊

機密第〇一一九五五番電

戰團概報（五月一日）

一、一四〇〇 P B Y I 一機誘導後一二來襲沖港南崎ヲ銃爆撃後南方ニ退去セリ

二、戰果ナシ被害戦死二名輕傷一名

三、一〇五〇ヨリ一七〇〇ノ間敵驅逐艦一隻本島西方海面約五〇浬附近ヲ哨戒兩方ニ去ル。

通六一八 於十五（五一〇〇KC）母通 大塚（小澤滿）

四 受信開始一〇五三〇 譯了二一三〇 電〇二〇九八 作 概

昭和廿年五月五日



符 共

海護總隊。一護衛艦隊。鎮海警備府

海護總各口。門司、博多、三池、釜山、大連、京城各在勤武官

機密第〇一二〇四〇番電 三分ノ一

發 黃海方面部隊指揮官

一七〇〇八一二九 二機 (高度千以下) 濟州島西岸沖合ヨリ大ヨリ山島

荷衣島・長竹水道ヲ經テ航行中ノ船舶ヲ攻撃獨巨島ノ東方三哩ニ機雷ヲ

敷設 (船長談) 後南方ニ脱去セルモノノ如シ宮玉丸 (P.W.T) 秦皇島行キ

(ハ一一一〇) シン島西方ニテ敵機

電信課註 本電三分ノ三ニ既配布

通二一五九 天二〇ケ八 (六七〇) 佐二枚 内山 (松山)

昭和十年五月參閱

五 二 受備 〇〇七六〇〇 譯了 〇九一五 電 〇〇七四一 航概 本 〇



● 新竹、ツドモウ、香港各航空基地
● シヨホール、セレター各航空隊、二八航戰、一三航空艦隊、
高雄、海南各警備府、一特根

機密第 〇一二〇四一 番電

發 大田黒大尉

宛 三三一 空司令

通報 黒澤少佐

零戦四機月光一機一八〇〇着零戦三機(岡本大尉他二名)天候不良ノ爲
引返シ一九一〇歸着明二日一四〇〇零戦七月光一機新竹ニ向ケ發ノ豫定
〇〇〇〇ヨリ〇三〇〇頃迄三回ニ分レバ一二九數機來襲飛行場周邊ニ小
型焼夷彈投下セリ爆撃情況ヨリスルモ戦闘機隊ノ轉進ヲ察知スルモノノ
如ク當基地無蓋掩体ノミニテ情況ハ位置等引入レ隱蔽スル所ヲシ。
通八一四 天一Bラ十三(九二〇五K)十通放 福島(松山)

五二受信 二七二二 譯了 三二一五 電〇一〇五〇 參作 本概 〇

總無線艦所用共通符號 昭和廿年五月參日



聯合艦隊司令部

機密第〇一二〇四五番電

照參電第三八二號 一日

ハラオ特報

一八〇〇迄ニ於ケルコスソル水道艦船出入狀況

出港 油槽船一（八千噸級甲板）飛行機搭載七機（驅逐艦一）

驅逐艦一

二入泊 輸送船七（八千噸級四隻）兩載千五百噸級三隻甲板上海艇搭

載各一油槽船三（八千噸級二隻）内一隻甲板上海艇搭載二機千

五百噸級河レモ滿載（驅逐艦三）

三一八〇〇ニ於ケルコスソル水道狀況左ノ如シ

輸送船一〇隻 油槽船六隻 驅逐艦七隻

一〇九一 呂三Bラ十（一五七二）C三三三 高橋少佐 川

42

五二 受信 〇七三五四 譯了 〇七四四五 電 〇〇七一四 作 機

昭和廿年五月參閱

二六根戰艦視報着信艦所。三南道艦隊下。三南道艦隊各口

機密 〇一二一一一五番覽

六KB 戰艦視報一日

二〇九〇五單發二ボバレ島銃臺一七四〇 一八二五單發各二カウ灣制壓
戰果被害ナシ

三アルバ入港順序大型十一(滿載)D一・一八一〇大型T三D二針路南
東碇泊一四〇〇T大型九中型三小型五病院船一付五海上トラツク四
上陸用舟艇大型五普通一一
三セロタイ九級進針路北乃至西大型計七。

三七六四 呂二〇ラ十八(一一二二二、五五〇)二十一通

樹藤(山中)

五二 受信〇〇三三 開始〇四〇〇 了〇五三〇 電〇〇九二一 作概・參本

緊急

共

符



機密符〇一二一一八番電 二分ノ一

發 南島島守備部隊指揮官

戰國概報(五月一日)

一、(イ)一〇四五・一九五度六〇軒ニ探知續イテB-1二四 一機來襲投彈

セズ 一一〇六 二〇〇度方向ニ退去

(ロ)一三一〇 二七〇度七〇軒ニ探知續イテPBY-1機二八〇度高角

三度ニ發見何レモ約一時間中ニ其リ附近ヲ旋回偵察ノ後一四五〇

一九〇度方向ニ退去

(ハ)一六一二 二四五度六五軒ニ探知一六三〇ヨリ約一時間ニ其リ

通六五〇 四一五十八(五一〇〇)南響 長谷川(川口) 1

一二四 一二機來襲概不雪上ヨリ島内及海中投擲 一七四一 三
 三〇度方向ニ退去内一機ハ高度一八〇〇米ニ二十五耗機銃命中
 多數アリ 主翼及發動機ヨリ黒煙ヲ吐キツツ山腹ニ落下ヲ認ム
 襲撃概不確實。

一電信線柱 本電二分ノ二未着

五二

受信 ○○一五八 譯了 一一二五 電 ○一一八〇

作概
本

急

共

符



東通・聯合艦隊司令部・横通・三航空艦隊司令部

小笠原部隊

機密第〇一二二二八番電 二分ノ二

着信者 横領司令長官 軍令部次長 參謀次長

受報者 一六潜水隊司令

二發射彈數(殘彈數) 一二、 高角砲二七(八九山) 八糎高角

砲一三一七五三 二五糎機銃八六五 一三糎機銃一七〇

三戰果 擊墜機未確實一機

四被害

(一)二五機發電機一直雖使用不能 重傷搭乘員五員

(二)滑走路使用可能。 電信課註本電二分ノ一未着

通六九二 呂一〇五 一八 一 横通 川東(吉井)

昭和廿年五月參日

9

5

五三 受信 〇〇七六一九

譯了 〇九〇〇

電自 〇〇一三一八

作 織

昭和廿年五月四日

共

符

◎ 大海一部・海上護衛線中・鎮守・二〇二戰隊▽・佐鎮・一護衛艦隊

◎ 濟州島空基地・驅潛艇二〇・屬代・四一・二六各海防艦・宇久・崎戸
一〇三戰隊▽・青根▽・上根▽・晴一〇二・掃二九

機密第 〇二〇〇三五番電 七分ノ一、二、四、五、六

發 朝顔驅逐艦長

シテ 〇三船團戰團概報 (六號)

一 經過概要

(1) 二十七日 〇〇四〇敵機ノ觸接ヲ受ク (北緯三二度〇六分東經一二二

度二一分) 對潛空情報第五一報ヲ鑑ミ朝顔機密第二七〇五〇二番電

通行動線定テ(東經七二〇八五二) (北緯三三度〇〇分東經一二二二度

九七三 九九五

通 一二二一 一二二二

九八八

天二日ケ十一

九八三〇〇

一佐二放

(川口) 1

田中 牧野 池板

○五分) 及一〇四五(北緯三三度二〇分東經一二二度〇五分) 觸接
ヲ受ク

(向) 二十七日二〇〇五ヨリ一六〇〇觸接二二三〇朝顔船團前方三軒ニ敵
浮上潜水艦ヲ發見(北緯三三度四八分東經一二三度五七分) 砲撃壓
入投射船團回避セルニ二二四五P.M.三機(前電訂正) 銃爆撃(船
團左側ニ小型機一〇) 來リ交戦二三五八撃退宇久ハ嚴重ナル敵潛
制壓當リ船團ハ急々結束ヲ図ク東進當時霧ノ爲

以二十八日〇七一七海二六船團右前方二軒雷跡二本(前電訂正) 船團
直前ニ向フヲ發見ス 朝顔() 船團ハ被害ナシ(北緯三四度

一四分東經一二四度〇三分) 啓々島ヲ攻撃中海四一直ニ之ニ對シテ
直接參加ス 海四一、〇八一〇知投射セルモ何レモ敵情ヲ得ズ

一八一〇黄海西方晴視界三軒灣一帯其ノ後ノ敵情ヲ得ズ 〇五一
○合同

三二十八日一〇三五敵機二機ノ爆(船團右前及中央ニ小型六) ヲ受
ケタルモ交戦一〇六ヲ退ス() 緋() 二五分東經一二四度三

分一更二一三三五（北緯三四度三〇分東經一二四度三八分）來襲交
戰。當目〇八〇〇乃至一六一五濃霧ノ爲視界三〇〇米

附二十八日一八二七敵機二機發見（北緯三四度五一分 一二五度二〇分）

次子二〇一五八一二四 一機（前電訂正）ノ觸接ヲ受テ擊退

（北緯三四度五〇分東經一二五度三五分）更二二十九日〇〇一二五敵

機二觸接（北緯三四度三五分東經一二五度四〇分）

三 戰果 二十七日二二〇五對馬ニテ擊墜破P B M各一機

三 被害

(1) 人員二十七員二二〇五對馬ニテ（前電訂正）（艦船名戰死重傷輕傷

ノ順ナリ）

宇久 三。一。五

一〇二哨戒艇一〇。一〇。二〇

新改丸 二。〇。〇

泰久丸 三。二。四

(ロ) 船體兵器二十七日二二〇五及二十八日一〇三五戦闘ニテ若干損傷ナリ

リタルモ戦闘航海ニ大ナル支障ナシ

(ハ) 發射彈數中小口徑砲二八機銃四四三〇爆雷五二

四所見

(ニ) 今回ノ敵飛行機ノ攻撃ハ拙劣ニシテ敵潛ヲ襲撃不慣

電信課註 本電七分ノ七未着

五二 受信二〇五〇 開始〇四二〇〇 終了〇六三〇 電〇一三八七 作概

昭和十年五月四日

共符

● 大海參一部・海護線F・一〇二戰隊Y・佐部・一護衛隊隊F

● 濟州島航空基地。野澤延二〇。屋代。四一海防隊。二六海防隊。宇賀久
一〇三戰隊Y・青島特根Y。上海特根Y。哈一〇二。博二九

機密電 〇二〇〇三万番電

七分ノ七

發 朝 顔

(口) 今回ハ敵機ニ對シテハ先制發見敵飛行機ニ對シテハ集団交戦ヲク
効ヲ奏セリ

(イ) 船團精強ノ基礎ハ結束指導ニ在リ即チ護衛機ト打合及船團會議ハ
徹底周倒ナルヲ要ス

(ニ) 對空電探(船團中朝顔ノミ裝備)及電探ハ極メテ有效ニシテ不可缺

通一三三三 天二〇七八 (三二〇〇〇) 作通 丸山(岩崎)



五 世
受信 一四四〇
開始 一六二〇〇
了 一八五〇
電 〇一九二〇
航作 本機 〇

● 總無線艦所用共通符號

昭和廿年五月五日

● 東 通・横 通

機密 〇二〇八一三番電

發 八文島警備隊司令

宛 大海邊 一部長 軍務局 一課長

通報 横領參謀長

自實空八文派遣隊ノ當隊へノ編入ハ作戰準備ノ促進上遠ニ實現ノ要

アルヲ認ムルトヨリ現地諸(從來ノ懸念上人心統一ノ要アリ)ニ

示鑑ミ至急之ニ口スル發令方(内意ニテモ可)取計ハレ度

通九九六 夫一日分十一()横須賀 丸山(様 澤)

昭和廿年五月廿日

五二 受信一三三七 譯了〇〇二〇 電〇一〇九四
譯始一四二〇

航作 本概〇

● 二三根戰鬪概報着信儘所

機密第〇二〇八一五番電

第二十三根戰鬪概報第七三號

一、一日二一三六 四發一機東方ヨリマカツル半島ニ沿ヒ侵入ナワカン
・マカツサル港外旋回後二一四九南東方ニサル
二、二二〇九 四發二機東方ヨリマカツサル半島南部ニ侵入ナワカン
リンブン・マカツサル港外旋回後南東ニ去ルナワカン灣ニ投彈セリ
被害ナシ。

（東通註 開始時不明ニ付遲延）

通九七六

呂一Bラ十八（一八三六七五〇）二一通

關根（森 田

1745

人

五二 受領一三〇五 譯了二三二五 電〇〇八一 航作本概〇

● 支那方面艦隊口

● 聯合艦隊口・東通

● 一〇一航空戰隊口・高警



機密第〇二〇九〇九番電

雷州半島西營飛行場及瀾洲島基地ハ友軍ニテ破壊セリ爾今使用不能。

通九三一 呂二Bケ一一(一四九三〇K)上海

加賀(小幡君)

昭和廿年五月参日